

平成 30 年度
下水道に関する人身事故発生状況について
(平成 30 年 10 月末現在)

1. 総括
2. 維持管理作業
3. 工事

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

1.人身事故発生状況(総括)

(平成30年10月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	10月までの集計	合計
維持管理作業	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (4)
	2. 負傷事故	3 (3)	3 (2)	2 (2)	4 (4)	4 (3)	4 (4)	3 (1)	0 (3)	0 (7)	0 (5)	0 (4)	0 (2)	23 (19)	23 (40)
	合計	3 (3)	3 (2)	2 (2)	4 (5)	4 (3)	4 (4)	3 (2)	0 (4)	0 (8)	0 (5)	0 (4)	0 (2)	23 (21)	23 (44)
	累計	3 (3)	6 (5)	8 (7)	12 (12)	16 (15)	20 (19)	23 (21)	23 (25)	23 (33)	23 (38)	23 (42)	23 (44)	-	-
工事	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (6)	0 (11)
	2. 負傷事故	3 (4)	4 (5)	5 (5)	14 (5)	4 (7)	5 (13)	6 (6)	0 (16)	0 (13)	0 (13)	0 (15)	0 (11)	41 (45)	41 (113)
	合計	3 (4)	4 (5)	5 (6)	14 (7)	4 (7)	5 (15)	6 (7)	0 (17)	0 (13)	0 (14)	0 (17)	0 (12)	41 (51)	41 (124)
	累計	3 (4)	7 (9)	12 (15)	26 (22)	30 (29)	35 (44)	41 (51)	41 (68)	41 (81)	41 (95)	41 (112)	41 (124)	-	-
合計	1. 死亡事故	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (3)	0 (0)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (8)	0 (15)
	2. 負傷事故	6 (7)	7 (7)	7 (7)	18 (9)	8 (10)	9 (17)	9 (7)	0 (19)	0 (20)	0 (18)	0 (19)	0 (13)	64 (64)	64 (153)
	合計	6 (7)	7 (7)	7 (8)	18 (12)	8 (10)	9 (19)	9 (9)	0 (21)	0 (21)	0 (19)	0 (21)	0 (14)	64 (72)	64 (168)
	累計	6 (7)	13 (14)	20 (22)	38 (34)	46 (44)	55 (63)	64 (72)	64 (93)	64 (114)	64 (133)	64 (154)	64 (168)	-	-

※下段()書きは前年度(平成29年度)の値
 ※国土交通省へ報告のあった事故について集計

2.人身事故発生状況(維持管理作業)

(平成30年10月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成29年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	3	1	1	1	0	2	0	0	0	0	0	0	8	15
	2. 政令市	0	2	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0	6	13
	3. 一般市	0	0	0	1	3	2	2	0	0	0	0	0	8	15
	4. 町村	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	3	3	2	4	4	4	3	0	0	0	0	0	23	44
発生施設	1. 管渠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2. マンホール	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3	4
	3. 処理場	2	1	1	3	3	2	2	0	0	0	0	0	14	31
	4. ポンプ場	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3	1
	5. その他	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	8
	合計	3	3	2	4	4	4	3	0	0	0	0	0	23	44
事故類型	死亡事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	1. 墜落・転落	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	2. はさまれ・巻き込まれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3. 飛来・落下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	負傷事故	3	3	2	4	4	4	3	0	0	0	0	0	23	40
	1. 墜落・転落	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	6
	2. はさまれ・巻き込まれ	2	0	1	0	2	3	2	0	0	0	0	0	10	8
	3. 飛来・落下	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	2
	4. 切れ・こすれ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	5. 転倒	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	9
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12. 公衆災害	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	14. その他	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	7
合計	3	3	2	4	4	4	3	0	0	0	0	0	23	44	
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	2. 委託先業者	3	0	1	3	4	4	3	0	0	0	0	0	18	39
	3. 第三者	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	5
	合計(人)	3	3	2	4	4	4	3	0	0	0	0	0	23	46
	累計	3	6	8	12	16	20	23	23	23	23	23	23	-	-

平成29年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 自治体職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
	2. 委託先業者	2	2	1	5	4	3	2	4	7	5	2	2	39
	3. 第三者	1	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	5
	合計(人)	3	2	2	5	4	5	2	4	8	5	4	2	46
	累計	3	5	7	12	16	21	23	27	35	40	44	46	-

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

人身事故情報データベース(維持管理作業)

平成30年度

平成30年10月末現在

NO.	発生年月日	事故情報				事故概要・発生防止策		被災者
		事業主体	発生施設	事故類型		事故概要	再発防止策等	
10月								
1	H30.10.3	3. 一般市	ポンプ場	①負傷事故	5.転倒	流入ゲート設備の修繕中、現場代理人である罹災者が流入渠内で工事写真を撮影していたところ、誤って開口部に足をとられバランスを崩し、転倒し右肩を強打	<ul style="list-style-type: none"> ・安全帯の常時使用を徹底する。 ・開口部の具体的な養生方法について施工計画書に記載するよう見直した。 ・外部講習の受講を検討する等、社内教育を見直し、安全管理の徹底を図る。 	委託先業者
2	H30.10.9	3. 一般市	処理場	①負傷事故	2.はさまれ・巻き込まれ	消化槽上部スカムブレーカー弁(汚泥のかくはん装置の一部)の点検作業において、作業者がグランドパッキン押え板のボルトを外し、ブレーカー弁の開閉動作確認を行った際、シリンダーと押え板が固着により一体となって上昇し、押え板と弁本体の台座の間に指を挟んで負傷した	<ul style="list-style-type: none"> ・当日の作業手順等を確認し、維持管理委託業者において安全研修会を開催した。 ・現場操作盤及び被災箇所安全標識を掲示した ・シリンダーの上下作業が伴う作業時は、点検者は可動部から離れ、触れないようにするという注意を作業手順書に明記した。 	委託先業者
3	H30.10.25	2. 政令市	処理場	①負傷事故	2.はさまれ・巻き込まれ	着水井の沈砂除去作業中に、流入ゲートを閉める際にゲートの枠部分に手をかけており、閉まる扉に手を挟まれ負傷した。	請負業者に確認しながら下水道管理者において、再発防止策を検討中	委託先業者

3.事故発生状況(工事) (平成30年10月末現在)

平成30年度

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成29年度 合計
事業者主体	1. 都道府県	4	1	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	9	10
	2. 政令市	1	4	3	4	4	4	2	0	0	0	0	0	22	22
	3. 一般市	1	3	5	11	3	6	7	0	0	0	0	0	36	88
	4. 町村	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	13
	5. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
	合計	6	8	10	18	8	10	9	0	0	0	0	0	69	140
工事分類	1. 管きょ開削	3	6	7	9	4	9	8	0	0	0	0	0	46	86
	2. 管きょ推進	1	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	6	18
	3. 管きょシールド	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	3
	4. 管きょその他	1	0	0	3	3	1	0	0	0	0	0	0	8	8
	5. 処ポ土木建築	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	13
	6. 処ポ機械電気	0	0	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	4	8
	7. 処ポその他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	合計	7	8	10	18	8	10	9	0	0	0	0	0	70	140
事故類型	1. 墜落・転落	0	3	3	2	0	1	2	0	0	0	0	0	11	30
	2. はさまれ・巻き込まれ	1	0	0	3	1	1	2	0	0	0	0	0	8	29
	3. 飛来・落下	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	10
	4. 切れ・こすれ	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	4	4
	5. 転倒	1	1	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	6	5
	6. 激突	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	7. 土砂崩壊	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	13
	8. 交通事故	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	4
	9. 感電	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10. おぼれ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	11. 火災・爆発	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	12-1. 公衆災害(人身)	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3	14
	12-2. 公衆災害(物損)	4	4	5	4	4	5	3	0	0	0	0	0	29	17
	13. 作業車両の横転	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
14. その他	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	
合計	7	8	10	18	8	10	9	0	0	0	0	0	70	140	
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11
	2. 重傷	2	4	5	9	3	5	5	0	0	0	0	0	33	81
	3. 軽傷	1	1	1	10	1	0	1	0	0	0	0	0	15	38
	合計(人)	3	5	6	19	4	5	6	0	0	0	0	0	48	130
累計	3	8	14	33	37	42	48	48	48	48	48	48	-	-	
その他(民間発注工事など)															
1. 死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

平成29年度

(単位:人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
被災者数(人)	1. 死亡	0	0	1	2	0	2	1	1	0	1	2	1	11
	2. 重傷	1	4	4	2	5	8	4	13	8	9	13	10	81
	3. 軽傷	3	1	1	3	3	4	2	3	6	4	7	1	38
	合計(人)	4	5	6	7	8	14	7	17	14	14	22	12	130
累計	4	9	15	22	30	44	51	68	82	96	118	130	-	
その他(民間発注工事など)														
1. 死亡	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2. 負傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

事故情報データベース(工事)

平成30年度

平成30年10月末現在

NO.	発生年月日	工事情報			事故情報			被災者		
		事業主体	工事分類	従事作業	発生場所	事故概要	事故類型	年齢	性別	被害状況
10月										
1	H30.10.1	3.一般市	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	掘削した深さ3.0m、幅1.2mの中に入り、山留めの設置作業中に側面の土砂が崩落し、作業員の足から腰のあたりまで埋まった。	7.土砂崩壊	51	男	右恥骨骨折
2	H30.10.1	3.一般市	6.処水機械電気	仮設工具棚のシート取替作業	現場内	仮設工具棚の裏側のスロープに廻り、幅18cmの壁(スラブ側から0.5m高、スロープ側からは1.2m高)を足場として作業をしていたが、風にあおられてバランスを崩し、スロープ側に落下。その際に両足で着地したが、スロープ上であったことから左足をひねって負傷した。	1.墜落・転落	41	男	左足骨折(脛骨・腓骨)
3	H30.10.2	2.政令市	1.管きょ開削	舗装復旧作業	現場内	作業員がアスファルトフィニッシャーの進行に合わせ、こぼれた合材を鉄板(重さ5kg程度)で復旧範囲内に押し込む作業をしていたところ、突然意識を失い後方に転倒し、頭部を路面にぶつけ、ヘルメットを着用していたが負傷出血した。	5.転倒	57	男	頭部打撲
4	H30.10.4	3.一般市	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	汚水管渠開削工事の掘削作業中、ガス管(φ100)を山留(トレンチ)にて、損傷させた。地山崩壊の恐れがあった為、早めに矢板を設置したところ、標準部よりも道路センター側に寄っていたガス管に矢板を接触させ損傷した。	12-2.公衆災害(物損)			
5	H30.10.8	3.一般市	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	人孔の床付掘削中に一次下請の作業員は、床付面に降りて掘削箇所を指示する作業を行っていた。作業員の合図でバケットを降ろし、掘削作業を始めた時に作業員がバランスを崩し、バケットの下に右足を挟み負傷した。	2.はさまれ・巻き込まれ	59	男	右第3、4中足骨骨折
6	H30.10.15	3.一般市	1.管きょ開削	掘削作業 土留作業	現場内	掘削時の土留施工において、2段目の土留を設置する際に1段目との噛み合わせが悪く、罹災者が直接同士の噛み合わせを確認していた。罹災者は左手指先を1段目の上部に置き右手で2段目の側壁を触っていたところ2段目が突然1段目にはまり、罹災者の左手指先が挟まれた。	2.はさまれ・巻き込まれ	58	男	左手(人差し指、中指、薬指)骨折
7	H30.10.23	2.政令市	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	取付管及びますの撤去・新設作業に伴いバックホウで掘削作業中、ガス管(PEφ50mm)を損傷させた。(地先への被害はなし) 上流の横引きます側のガス管(土被り1.0m)と同様の土被りと想定して掘削作業を実施したところ、ガス管(土被り0.89m)を損傷させてしまった。	12-2.公衆災害(物損)			
8	H30.10.24	3.一般市	1.管きょ開削	作業時間外	現場内	罹災者(第3者)が従業員寮から出てマンホール用の床掘穴(2.7m×4.9m×深さ2.7m)の側を通過しようとしたところ足を滑らせ転落した。	1.墜落・転落	62	男	右脇肋骨骨折
9	H30.10.31	3.一般市	1.管きょ開削	掘削作業	現場内	VUφ600mm布設に伴う管路掘削中にガス供給管(PEφ30mm、D.P=0.75m)を破損した。 掘削は慎重に行っていたが、当該供給管の埋設位置がガス会社によるマーキング位置から1.05m手前側にずれており、かつ、埋設標示シートの埋設深さが供給管のほぼ直上である程に深かったため、埋設位置を認識することができずに破損した。	12-2.公衆災害(物損)			

平成 30 年度
下水道に関する水質事故等発生状況について
(平成 30 年 10 月末現在)

国土交通省 水管理・国土保全局
下水道部

水質事故等発生状況 (平成30年10月末現在)

[総括]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	水質事故等 合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	2 (1)	8 (11)	4 (5)	0 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	35 (53)
	累計	4 (1)	10 (4)	12 (10)	21 (16)	23 (17)	31 (28)	35 (33)	35 (39)	35 (46)	35 (49)	35 (53)	35 (53)	- -

[内訳]

(単位:件)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業主体	1. 都道府県	1 (1)	1 (1)	0 (2)	4 (2)	0 (1)	0 (3)	2 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	8 (15)
	2. 政令市	0 (0)	2 (1)	2 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (5)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	5 (12)
	3. 一般市	3 (0)	3 (1)	0 (3)	4 (3)	1 (0)	7 (3)	2 (3)	0 (5)	0 (4)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	20 (25)
	4. 町村	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (1)
	5. その他	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	2 (1)	8 (11)	4 (5)	0 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	35 (53)
発生施設	1. 管渠	1 (1)	4 (2)	1 (3)	3 (1)	0 (0)	2 (2)	2 (1)	0 (3)	0 (4)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	13 (20)
	2. マンホール	1 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (2)	2 (0)	1 (2)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	5 (10)
	3. 処理場	2 (0)	1 (0)	1 (3)	4 (3)	0 (1)	3 (5)	2 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	13 (16)
	4. ポンプ場	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (1)
	5. その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (6)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	2 (1)	8 (11)	4 (5)	0 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	35 (53)
原因者	1. 下水道管理者(委託先含む)	0 (1)	3 (3)	2 (3)	4 (3)	0 (0)	1 (6)	1 (3)	0 (4)	0 (2)	0 (2)	0 (2)	0 (0)	11 (29)
	2. 民間事業者(一般人を含む)	2 (0)	2 (0)	0 (2)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	6 (8)
	3. その他(天災、原因者不明含む)	2 (0)	1 (0)	0 (1)	4 (2)	2 (1)	7 (4)	2 (2)	0 (2)	0 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	18 (16)
	合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	2 (1)	8 (11)	4 (5)	0 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	35 (53)
事故類型	① 悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
	② 悪質下水の流入(放流水質が基準に適合)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (3)
	③ 悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (3)
	④ 雨水管からの悪質下水の流出	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (1)	0 (1)	0 (0)	2 (5)
	⑤ 下水道施設からの下水等の流出	2 (1)	4 (2)	2 (2)	4 (1)	0 (0)	3 (3)	1 (2)	0 (4)	0 (3)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	16 (21)
	⑥ その他事故(①～⑤以外の事故)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (5)
	水質事故 合計	2 (1)	6 (2)	2 (4)	7 (3)	0 (1)	7 (6)	4 (4)	0 (6)	0 (6)	0 (3)	0 (2)	0 (0)	28 (38)
その他案件	2 (0)	0 (1)	0 (2)	2 (3)	2 (0)	1 (5)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	7 (15)	
水質事故等 合計	4 (1)	6 (3)	2 (6)	9 (6)	2 (1)	8 (11)	4 (5)	0 (6)	0 (7)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	35 (53)	
状況分類	① 耐用年数経過	0 (0)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (2)
	② 耐用年数以内	2 (1)	2 (1)	0 (2)	2 (3)	1 (0)	1 (1)	0 (2)	0 (3)	0 (3)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	8 (17)
	③ 天災等	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	合計	2 (1)	2 (1)	1 (3)	3 (3)	2 (0)	2 (1)	0 (2)	0 (3)	0 (4)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	12 (19)

※状況分類については水質事故等において、事故発生原因が下水道施設の損傷または、設備の故障によるものを集計

※()内書きは、前年度(平成29年度)の値

※国土交通省へ報告のあった事故について集計

水質事故等情報データベース

平成30年度

平成30年10月末現在

NO.	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
10月								
1	H30.10.3	1. 都道府県	管渠	水質事故	②悪質下水の流入(放流水質が基準値に適合)	-	-	食用油を積んだコンテナ車が交通事故を起こし食用油が路上に流出した。 ・ポンプ所にて油の流入を確認。バキューム車による吸引を行う(流入量は不明)。 ・処理場の放流水質には問題が無いことを確認した。
2	H30.10.5	1. 都道府県	処理場	水質事故	③悪質下水の流入によらない放流水質の基準不適合	-	-	栄養塩類増加に係る試験運転を実施し、放流水のT-P濃度を日間平均値0.8mg/Lを目標とした運転を実施していた。毎時データを確認しながらの運転であったが、PAC添加量変更によるT-P濃度低下が想定どおりに下がらなかったため、日間平均値が事業計画値(1.0mg/L)を超過した。 ・凝集剤(PAC)添加量を増量し、放流リン濃度を下げた。翌日には基準値内となった。 ・再発防止として、毎時のデータを確認し、凝集剤添加量を増加させるタイミングを調整する。
3	H30.10.18	3. 一般市	処理場	水質事故	①悪質下水の流入(放流水質が基準に不適合)	-	-	低pHアラームが発報したため、異常水の流入を確認。流入ゲートを閉鎖。放流水質の六価クロム濃度が一時的に基準値を上回った。 ・流入水質が改善傾向にあったため、流入ゲートを開けて流入水と混ぜて放流水質の改善を図った。 ・流入元の原因者特定には至らなかった。

水質事故等情報データベース(原因:施設損傷・設備故障によるもの)

平成30年度

平成30年10月末現在

	発生年月日	事故情報			状況分類		事故概要・対応	
		事業主体	発生施設	事故類型	供用年数 ／ 標準耐用年数	損傷・故障 の発生状況	事故概要	事故への対応
10月								
1	H30.10.24	3. 一般市	管渠	水質事故	⑤下水道施設からの下水等の流出	確認中		・県土木道路維持課から、道路工事により下水道管破損の可能性ありと一報が入る。管路清掃業務委託の業者へ連絡、バキューム車要請。 ・バキューム車による搬出や清掃を行う。 ・試験を行い漏水箇所を調査中 ・県土木事務所道路維持課、警察、町内会へ連絡